

平成29年第1回市議会定例会

市長提案理由

(平成29年2月28日提案)

平成29年第1回市議会定例会の開会に当たり、提案理由の説明に先立ちまして、2月5日に発生しました楠町火災について、御報告いたします。

去る2月5日午後7時16分、楠町13番において建物火災が発生し、4棟が全焼し、部分焼などを含む7棟14世帯、22人の方々が被災され、3人の方の尊い命が失われました。

消防車両27台、消防隊員・消防団員計173人が出動して消火活動にあたる一方で、午後8時30分に災害対策連絡室を設置し、ふれあい広場・サザンクロス4階に避難所を開設するなどして被災者の支援にあたり、出火から約4時間後の午後11時に鎮火しました。

お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心から御見舞申し上げます。

これまで被災者の皆さんへの宿泊施設の無償提供や寝具・衣類等の提供など多くの善意をお寄せいただきました。温かい気持ちをお寄せいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

被災された方々の生活再建や地域の復興に向け、昨年の熊本地震の経験と教訓を踏まえ、民間の方々とも連携・協働しながら、引き続ききめ細かな対応を行うとともに、防災行政の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

続いて、ただいま上程されました諸議案の説明に先立ち、新年度の市政運営に対する私の基本的な考えを申し上げます。

平成28年度は、本市観測史上最大の震度6弱の震災から始まったと言っても過言ではありません。

4月16日の発災直後、私は直ちに市役所内のケーブルテレビ「Bスタジオ」から生放送で、市民の皆さんに地震時の注意事項と冷静な対応を呼びかけました。

以来、私は、あらゆる機会を捉えて別府の元気を発信するとともに、

議会の全面的な御協力をいただきながら、二度にわたる専決処分や臨時議会を含む数次の復興関連補正予算を編成し、市民生活の早期再建や観光関連産業への影響緩和に向けて、心血を注いでまいりました。

本市の基幹産業である観光産業は、官民挙げての努力が実り、宿泊者数については、数字的にはほぼ前年並みの回復を果たすことができました。

震災対応にあたりながら、地域再生法に基づく地域再生計画にも応募し、本市の地域再生計画は、5件連続して内閣総理大臣の認定を受けることができました。

私は、市長就任以来、「まちまもり」こそ「まちづくり」であり、別府の歴史・伝統・文化・産業を磨き続けることこそが、別府の誇りを再建し、新たな誇りを創生することにつながると考え、「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ことを念頭に市政運営に当たってきました。

震災から1年を迎え、さらに、楠町火災を踏まえ、平成29年度は、全ての市民に寄り添い、全てのまちのすみずみまで燦燦たる光が行き届くことを期して、ひとをまもり、まちをまもり、別府人の暮らしをまもる年にしたいと決意しています。

新年度の市政運営については、「震災からの完全復興 観光再生の実現」、「総合戦略の確実な実行」、「別府の特性をいかした、別府ならではの挑戦」を念頭に置いて、ことに当たっていきたいと考えております。

まず、「震災からの完全復興 観光再生の実現」についてです。

震災から10か月余りが経過し、国の観光振興策である「九州ふっこう割」が昨年12月末で終了し、今後の状況が危惧されるところであります。

このような状況を踏まえ、被災した本市を様々なかたちで支援していただいた方々に「感謝の気持ち」を伝えるとともに、官民が連携し、

総力を挙げて「選ばれる観光地」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

次に、「総合戦略の確実な実行」についてであります。

別府市総合戦略及び別府市総合計画後期基本計画の円滑な推進を図り、「まちをまもり、まちをつくる」共創のかたちをつくるために行う別府市役所の機構改革がいよいよ4月から起動します。

「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ため、時代の要請や新たな課題に対応し、地方創生の取組を加速させるとともに、「政策市役所」の実現を目指して人材育成や組織体制の強化を図ることにより、「政策復興」を加速化させていきます。

さらに、「別府の特性をいかした、別府ならではの挑戦」についてであります。

昨年11月に実施しました「別府ONSENアカデミア」では、別府の潜在的価値や可能性について、再認識することができました。平成29年度は、本市が持つ豊かな温泉資源をいかして、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、スポーツ選手のメディカルチェックやリハビリ・療養等に関する温泉の具体的な効果・効能について、医療・医学の分野と連携を図り、この取組をラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を始めとする国際スポーツ大会事前キャンプや大会等の誘致活動につなげてまいります。

別府温泉の可能性と別府の元気を発信する試みである「湯～園地」計画につきましても、広く民間からの御協力を募りながら、「別府にしかできない夢」の実現に向け努めてまいりたいと考えております。

続きまして、ただいま上程された各議案について、その概要を説明いたします。

予算関係議案から御説明申し上げます。

まず、平成28年度補正予算であります。

一般会計の補正額は、13億840万円の減額であり、補正後の予算額は493億5,000万円となります。

今回の補正予算では、国の平成28年度第二次補正予算に計上された地方創生拠点整備交付金を活用した事業のほか、最終補正のため、決算見込みによる歳入歳出予算の計数整理等を行っております。

本市が内閣府に応募しました地域再生計画・「敢えて『オフサイド』することをめざして べっぷ竹の駅(Beppu Bamboo Base)が絆(つな)ぐ伝統的工芸品とインバウンドの連結拠点整備プラン」が地方創生の先導的な取組として評価され、地方創生拠点整備交付金の対象事業に採択されましたことから、補正予算に計上するものであります。

ラグビーワールドカップ2019を見据えた上で、天然芝グラウンドに整備しています実相寺中央公園多目的グラウンドから僅か160メートルの至近距離に位置している別府市竹細工伝統産業会館にべっぷ竹の駅(Beppu Bamboo Base)や「竹カフェ・Bamboo Café」、さらに、工房などを併設し、平成6年の開館以来、23年ぶりに竹細工伝統産業会館をリニューアルし、再生させるための予算を計上しています。

この事業につきましては、補助率50パーセントの地方創生拠点整備交付金に加えて、地方債充当率100パーセント・地方交付税措置50パーセントの補正予算債を活用することにより、本市の財政負担を可能な限り抑制する措置を講じています。

次に、特別会計であります。

国民健康保険事業ほか4つの特別会計で、決算見込みによる所要額の調整を行っております。

補正額は、39億2,040万円の減額であり、補正後の予算額は462億5,263万1千円となります。

水道事業会計では、収益的収支及び資本的収支ともに、決算見込額

に合わせた計数整理として、補正を行っております。

次に、平成 29 年度当初予算であります。

一般会計の予算規模は、487 億 1 千万円であり、前年度と比較しますと、2.6 パーセントの増となっております。

平成 29 年度当初予算は、震災からの完全復興と市民の安全・安心を実現する予算として、「『ひとまもり』と『まちまもり』」、「儲かる別府への進化」、「地域経済の活性化」への取組を重点的に編成しました。

平成 29 年度当初予算の編成に当たりましては、市税収入が伸び悩む中、国の地方財政対策におきましても、地方交付税の減額が示されるなど、本市もまた予算編成にこれまで以上の工夫と努力を傾注いたしました。

このような地方財政を取り巻く状況にあっても、平成 29 年度当初予算は、地方創生の発展期の予算として、別府創生の実現を加速するため、重点的に取り組むべき施策に対しては、財源を重点配分するとともに、地域経済を下支えする公共事業費も大幅に増額し、景気にも配慮した積極型予算を編成しました。時代の要請や地域の事情に配慮した政策を打ち出しながら、今後も、別府で暮らす人々の幸福度の向上に向けて一意専心努力してまいります。

それでは、当初予算の主な内容について、御説明申し上げます。

「ひとまもり」と「まちまもり」の取組として、中山間地域の生活支援のための地域公共交通の維持と、高齢者の日常生活における移動を支援するため、昨年 12 月から運行しています乗合タクシーである「みんなのタクシー」について、運行地域を拡大するとともに、市街地においても、70 歳以上の高齢者を対象に初乗運賃で利用できるバスの実証運行を開始します。これまでの実証運行で得られた地域住民のみなさんの意見やニーズ等を踏まえ、中山間地域の交通不便地域で暮らす人々や通院や買物など日々の暮らしの交通手段に不自由を余儀

なくされている高齢者の方々に寄り添い、移動支援と社会参加の促進を図る救済策を講じてまいります。

熊本地震の震災におきましては、全国から温かい御支援を寄せていただきました。復興が着実に進む中、観光客として別府に来ていただいたことで御支援いただいた方々に感謝の気持ちを伝えるための動画を制作し、広く発信します。支援していただいた方々に「ありがとう」の気持ちを込めて、本物の別府温泉を宅配する「元気なべっぴん発信(ありがとう)事業」を実施します。

観光の再生に向け、新たに観光情報発信力強化事業を実施し、観光ホームページの充実・強化を図るとともに、インバウンド事業では、JR別府駅構内にある外国人観光客案内所を起点とする外国人観光客向け周遊パスや市内飲食店のメニューの多言語化、温泉施設マップ作成等による外国人観光客満足度アップ事業を新たに実施することにより、受入体制を整備いたします。

今回の震災の体験を踏まえ、大規模災害の備えとして、大災害時に優先業務の適切かつ迅速な対応を可能にする業務継続計画(BCP)を策定するとともに、災害情報共有システムや職員参集システムの導入など防災体制の強化・充実を図っていきます。

さらに、熊本地震及び楠町火災を踏まえ、地域力を強化するため、自主防災会や関係機関が連携して実施する各種訓練の経費等を助成する自主防災連携活動事業、地域を磨き、相互に支え合いながら、共通の課題を解決する「ひとまもり自治区」・中規模多機能自治区の実現に向けた取組を支援する「ひとまもり自治区」形成事業を新たに実施します。

別府の未来をつくる子どもたちを育む環境の充実も図っていきます。

本年1月に全公立中学校において、エアコンの運用を開始しましたが、新年度は、全公立小学校・幼稚園にエアコンを設置し、学びの環

境の一層の充実を図っていきます。

さらに、放課後児童クラブを利用する保護者の負担を軽減する助成制度を新たに設けるとともに、私立認可保育園の保育定員の拡充、預かり保育を実施する公立幼稚園の拡充など、別府で子どもを「産み」、「育て」、「生きる」希望をかなえる環境を整えてまいります。

「儲かる別府に進化する」取組としては、担い手の人材育成、製品の認知度向上に資する竹産業イノベーション（技術や経営の革新）事業、竹細工新製品開発事業など、世界に誇る伝統産業であります竹産業の振興を図るとともに、市内の産業の活性化と雇用創出に力を注ぐため、補助制度を創設し、企業誘致を積極的に展開してまいります。

さらに、平成27年度から地方創生先行型交付金（タイプ ）を活用して調査研究を行ってきました産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK を新年度に設立します。

B-biz LINK を機軸として、市内の企業・大学・行政・地域が連携・協働し、別府一丸となって起業支援や人材の育成など地域の活性化に取り組んでいきます。

そのほか、日本を代表するセレクトショップである B E A M S と連携して新たな「ひと・もの・しごと」づくりを支援する「4『B』i 地域産業イノベーション推進事業」、ICT等を活用した観光産業生産性向上事業など稼ぐ力を新たに生み出し、強化することによって「儲かる別府」を実現してまいります。

また、山の手・浜脇中学校の統合事業や安心して快適な生活環境を確保するため、し尿処理場春木苑更新事業に引き続き取り組むほか、老朽化した公共施設の安全性と機能維持のため、消防署亀川出張所や市営亀川住宅の建て替えにも着手します。

これらの公共事業費を早期に切れ目なく執行することにより、地域経済の活性化を図っていきます。

次に、特別会計の予算総額は、４８０億９，９００万円であり、前年度当初予算比で０．５パーセントの増となっています。

競輪事業特別会計では、老朽化した選手管理棟を改築する予算を計上しています。

介護保険事業特別会計では、高齢者の日常生活の支援体制の充実・強化及び社会参加の推進を一体的に図る生活支援体制整備事業や指定管理者との共同により市営温泉２か所を利用して、高齢者の入浴支援を行う高齢者入浴支援サービス事業を実施します。

最後に、水道事業会計であります。安定給水確保のため、施設拡張改良事業、配水管整備事業、朝見浄水場既存施設更新事業、基幹施設耐震補強事業や、安心でおいしい水の給水確保のため、鉛管対策事業などの経費を計上しております。

次に、予算外の議案につきまして、御説明申し上げます。

予算外の議案につきましては、「条例関係１４件」、「その他４件」の計１８件を提出しています。

議第１７号「別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について」は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により情報連携の範囲が拡大されたこと等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第１８号「別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び別府市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について」は、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費に係る限度額を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第１９号「別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」及び議第２０号「別府市職員の育児休業等に関する条例

の一部改正について」は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により育児休業等の対象となる子の範囲が拡大されたこと等に
伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 2 1 号「別府市職員厚生会に関する条例の一部改正について」
は、別府市職員厚生会に対する市の負担金を減額することに伴い、条
例を改正しようとするものです。

議第 2 2 号「別府市職員の給与に関する条例及び単純な労務に雇用
される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」
は、配偶者に係る扶養手当を引き下げ、子に係る扶養手当を引き上げ
ることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 2 3 号「別府市税条例等の一部改正について」は、地方税法等
の一部を改正する等の法律の一部改正により、軽自動車税における環
境性能割の導入時期が延期されたこと等に伴い、条例を改正しよう
とするものです。

議第 2 4 号「別府市手数料条例の一部改正について」は、建築物の
エネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく建築物エネルギー消
費性能適合性判定に係る手数料を定めるため、条例を改正しよう
とするものです。

議第 2 5 号「別府競輪市民広場の設置及び管理に関する条例の一部
改正について」は、競輪開催日の入浴料を無料とする扱いを廃止す
ることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 2 6 号「別府市国民健康保険税条例の一部改正について」は、
国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の限度額
を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 2 7 号「大所飲料水供給施設の設置及び管理に関する条例の一
部改正について」は、引用する別府市簡易水道事業給水条例を廃止す
ることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 28 号「別府市温泉発電等の地域共生を図る条例の一部改正について」は、温泉発電等の導入の影響等を審議する別府市温泉発電等対策審議会を設置することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 29 号「別府市水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について」は、簡易水道事業を水道事業に統合すること及び剰余金の処分方法を定めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 30 号「別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」は、水道局企業職員についても、介護時間に係る給与を減額する等のため、条例を改正しようとするものです。

議第 31 号「市道路線の認定及び廃止について」は、道路法の規定に基づき、市道の認定及び廃止について、議会の議決を求めるものです。

議第 32 号及び議第 33 号の「市有地の貸付けについて」は、市有地を民間保育施設用地として無償で貸し付けることについて、地方自治法第 96 条第 1 項第 6 号の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第 34 号「市長専決処分について」は、地獄蒸し工房鉄輪の指定管理者の指定の取消しに伴い、同施設の管理を委託するため、平成 28 年度別府市一般会計補正予算（第 8 号）を地方自治法第 179 条第 1 項の規定に基づき、市長において専決処分したので、同条第 3 項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。